

教師のリーダーシップが学級の児童・生徒のリーダーシップに及ぼす影響

森部真穂

問題と目的

子どもたちは一日の大半を学校で生活し、その中で必要な知識や技能を身につけていく。そのような子どもたちにとって、教師はもちろんのこと、同級生の存在はとても身近である。その中でも、学級集団におけるリーダー的存在の児童生徒の行動は、子どもたちの基準・手本となったり、学級集団の動きに影響を及ぼしたりするであろう。そこで、本研究では、学級の児童生徒リーダーのリーダーシップ行動に着目し、学級集団を見ていく。

児童生徒リーダーのリーダーシップ行動を規定する要因として、教師のリーダーシップ行動がある。教師のリーダーシップ行動を、PM 式リーダーシップ理論（三隅ら，1977）を用いて、目標達成行動（Performance function, P 行動）と集団維持行動（Maintenance function, M 行動）に分けて捉えると、吉崎（1978）は、教師のリーダーシップについて P 型の要素が強い場合、その学級は階層化し、児童生徒の中からリーダーが出現することを示した。そして、このように出現した児童生徒リーダーは、指示・命令・許可などをする、いわば P 行動の多いリーダーであることが小林（1960）から示唆される。

また、教師のリーダーシップ行動が PM 型の学級はスクールモラル得点が高いことから（三隅ら，1977；佐藤ら，1976）、児童生徒リーダーのリーダーシップ行動がスクールモラルに何らかの影響を及ぼすことが考えられる。また、Cillessen（2011）は小学4年生から6年生において、学級の中心的な子どもは、運動ができて向社会的で攻撃的でない模範的な子どもと、攻撃的で運動ができるやんちゃなタイプの子どもの2パターンであることを指摘している。したがって本研究では、児童生徒のリーダーシップスタイルを検討する際、“やんちゃ”タイプのリーダーシップを考慮する必要がある。

本研究の目的は、教師のリーダーシップ行動が児童生徒リーダーのリーダーシップ行動にどのように影響するか、また、児童生徒リーダーのリーダーシップ行動は学級の状態にどのように影響するかを検討することである。

方法

調査対象 愛知県内の小学校5年生から中学校3年生、合計9クラスの児童生徒とその担任教師。児童生徒総計274名（男子137名、女子137名／児童114名、生徒160名）を対象にした。

調査時期 2012年10月から11月にかけて質問紙調査を実施した。

調査内容

Table1 教師のリーダーシップ行動に関する項目因子分析結果

教師のリーダーシップ行動に関する10項目		I	II
1. 児童生徒に 実施した質問紙 項目（回答は全 て5件法で求め た）	リーダーシップM行動（ $\alpha = .70$ ）		
	12. 私（ぼく）の話を聞いてくれる。	.83	-.09
	10. 私（ぼく）が困っている時、相談にのってくれる。	.82	-.10
	13. 私（ぼく）たちとよく話し合いをする。	.68	.09
	14. 私（ぼく）たちとたがいに思っていることを話す。	.63	.21
	8. 友達関係をよく見ている。	.60	-.08
	リーダーシップP行動（ $\alpha = .72$ ）		
	5. 私（ぼく）に「自分でやりなさい」と言う。	-.11	.67
	3. 忘れ物をした時、きびしく注意する。	-.02	.61
	4. 分からない時は自分で考えたり調べたりするように言う。	.08	.56
2. 授業の時、おしゃべりなどを注意する。	.13	.47	
6. 授業中、私（ぼく）たちが勉強にとりかかるまでだまって待っている。	-.10	.35	
因子間相関		I	II
		I	-.47
		II	-

- (1) 教師のリーダーシップ行動尺度 三隅ら (1977) 及び弓削 (2012) の教師のリーダーシップ行動尺度を参考とし、「リーダーシップ P 行動」と「リーダーシップ M 行動」の 10 項目を作成した (Table1)。
- (2) スクールモラル尺度 吉崎 (1978) や三隅ら (1977) のスクールモラル尺度などを参考に、「学級連帯性」「規範意識」「学習意欲」の 9 項目を作成した。
- (3) 仲間関係に関する尺度 石田ら (2009) の仲間集団の特徴に関する尺度を参考に「対等関係」「階層関係」の 8 項目を作成した。
- (4) 教師との関係に関する尺度 児童生徒がどの程度教師の話に納得したり、気持ちに共感したりするかを測る 4 項目を作成した。

2. 教師に実施した質問紙項目

「現在の学級の子どもたちにとって、いろいろな意味でリーダーとなっている子どもについてお聞きします。そのような子どもを 1~4 名思い浮かべてください」と教示し、一人の子どもにつき以下の (1), (2) の質問項目に回答してもらった。最終ページではリーダーを育てるために行っている支援や試みに関して自由回答を求めた。回答は全て 5 件法で求めた。

- (1) 児童生徒リーダーのリーダーシップ行動尺度 塚 (2000) のリーダーシップ行動尺度を参考に「リーダーシップ P 行

Table2 児童生徒リーダーのリーダーシップ行動に関する項目

動」「リーダーシップ M 行動」の 7 項目を作成した (Table2)。

児童生徒リーダーのリーダーシップ行動に関する7項目	
リーダーシップM行動 ($\alpha = .72$)	2. 話し合いの時に、みんなの意見を聞くほうだ。
	4. 先生が学級全体を叱った時、雰囲気良くなるように周りに声をかける。
	6. 学級のみんなから相談されるほうだ。
	10. 嫌な思いをしている人をなぐさめるほうだ。
リーダーシップP行動 ($\alpha = .68$)	3. 先生が学級全体を叱った時、代表して謝ったり何とかしようとする。
	5. 学級のだれにでも自分が思っていることをはっきり言う。
	9. 友達がけんかをしているとき、すぐに止めに入るほうだ。
児童生徒リーダーのやんちゃ行動に関する2項目 ($\alpha = .72$)	
	1. みんなを誘って学校ではしてはいけないことをやるほうだ。
	2. 授業中に寝るなど、良くない行動をみんながまねする。

- (2) 児童生徒リーダーのやんちゃの程度を測る尺度 Cillessen (2011) を参考に 2 項目を作成した。

調査の実施 学級担任にお願いし、学級で一斉に質問紙調査を行った。調査後は封筒に入れ封をした状態で回収した。

結果と考察

教師のリーダーシップ類型と児童生徒リーダーのリーダーシップ類型の関連

教師のリーダーシップ強 P 型・弱 P 型と児童生徒リーダーのリーダーシップ P 要素あり・なしの χ^2 検定を行ったところ、有意差はなく ($\chi^2 = .15, n.s.$) 教師のリーダーシップ類型による児童生徒リーダーのリーダーシップ行動の違いは見られなかった (Table3)。但し、教師のリーダーシップ類型ごとに児童生徒リーダーの P 要素あり・なしとやんちゃ得点高・低で χ^2 検定を行った結果、有意な傾向が見られ ($\chi^2 = 4.16$, 両側確率: $p = .10$, 片側確率:

$p = .08$)、教師のリーダーシップが pm 型の学級において、やん

Table3 教師のリーダーシップ類型と児童生徒リーダーのリーダーシップ類型の関連

		児童生徒リーダー		合計
		P要素あり	P要素なし	
教師	PM	6 (46.2%)	7 (53.8%)	13 (50.0%)
	pm	7 (53.8%)	6 (46.2%)	13 (50.0%)
合計		13 (50.0%)	13 (50.0%)	26 (100.0%)

ちやな性格でリーダーシップ P 要素を持つ児童生徒リーダーが多く出現することが示された (Table4)。

また、学級ごとに児童生徒リーダーシップをみると、pm 型学級に児童生徒リーダーが複数いる場合、PM 型と P 型や M 型な

Table4 pm 型学級における児童生徒リーダーのやんちゃ得点と P 要素の関連

		児童生徒のやんちゃ得点		合計
		高い	低い	
児童生徒のリーダーシップ	P要素あり	5 (38.46 %)	2 (15.38 %)	7 (53.85 %)
	P要素なし	1 (7.69 %)	5 (38.46 %)	6 (46.15 %)
合計		6 (46.15 %)	7 (53.85 %)	13 (100 %)

ど、異なるリーダーシップ行動をとる児童生徒リーダーが存在することが読みとれた。pm 型教師は注意や助言などのリーダーシップ行動が少ないため、児童生徒から様々な方針を持ったリーダーが出現すること、さらに、児童生徒リーダーはやんちゃで強い発言や行動をすることが考えられる。pm 型教師は、児童生徒との人間関係や自らのリーダーシップについて見直すことが必要であると思われる。

教師のリーダーシップ類型と児童生徒リーダーのリーダーシップ類型による諸側面の比較

教師のリーダーシップ類型 (PM, pm) と児童生徒リーダーのリーダーシップ P 要素 (あり・なし) による諸側面の二要因分散分析を行った (Table3)。その結果、教師のリーダーシップ類型により、規範意識、教師との関係、階層関係に有意差が見られ、教師のリーダーシップが PM 型である方が pm 型であるより、得点が高い結果となった。また、児童生徒リーダーのリーダーシップ行動に P 要素が入っていない学級において、学習意欲が有意に高いことが示された。P 要素がない児童生徒リーダーの学級には、児童生徒リーダーが 1 人か 2 人しかいない。それらの学級は、学級集団が分化途中であり、児童生徒が教師に依存する状態であることが考えられ、児童生徒が、教師の期待する勉強への姿勢を取り込み勉強に励むことから、学習意欲が高いと推測される。

Table5 教師のリーダーシップ類型と児童生徒リーダーのリーダーシップ類型による諸側面得点

教師のリーダーシップ	児童生徒のリーダーシップ	学級連帯性	規範意識	学習意欲	教師との関係	対等関係	階層関係
PM (N=162)	P要素あり (N=98)	4.04 (.58)	4.19 (.60)	3.37 (.85)	3.86 (.81)	3.98 (.65)	4.11 (.62)
	P要素なし (N=64)	4.06 (.73)	4.10 (.60)	3.84 (.88)	3.91 (.81)	3.97 (.78)	4.18 (.69)
pm (N=112)	P要素あり (N=78)	3.80 (.69)	3.91 (.72)	3.32 (.94)	3.56 (.73)	3.91 (.76)	3.87 (.82)
	P要素なし (N=34)	4.04 (.75)	3.85 (.76)	3.60 (1.01)	3.66 (.92)	4.12 (.85)	3.88 (1.03)
主効果	教師のリーダーシップ	2.22	9.39**	1.60	6.87 [†]	.20	7.15 [†]
	児童生徒のリーダーシップ	2.27	.75	10.00**	.48	1.06	.18
	交互作用	1.63	.04	.65	.06	1.29	.09

(注) 諸側面の数値は、平均値 (SD) である。

** $p < .01$, [†] $p < .10$

教師のリーダーシップ類型と学級集団との関連

学級の児童生徒集団構造について、教師との関係からみると、教師のリーダーシップが pm 型の学級において、児童生徒リーダー以外に教師と親密な関係にある児童生徒が存在した (Figure1)。児童生徒同士の心理的な争いや、教師 (と一部の児童生徒) と児童生徒リーダーの対立が推測される。

PM学級の例

pm学級の例

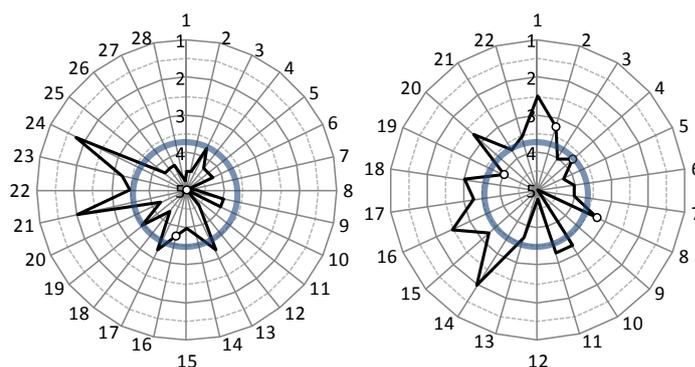


Figure1 教師との関係グラフ

児童生徒リーダーを育てるための支援や試み

PM 型の教師は、「リーダー会を開く」「担任と話し合う」など、リーダー育成のために特別に時間を設け、様々な支援を行っていた。それに比べ、pm 型の教師は、学級の児童生徒の誰でも回ってくる役割、例えば「日直の司会」「縦割り活動でのリーダー経験」の支援を行っていた。今回、pm 型に分類された学級は小学校が多いため、リーダーとしての技術が高まる機会を皆に与える支援を大事にしていることが考えられる。一方 PM 型に分類された学級は、今回中学校が多いため、リーダーとなる生徒が限られ、教師はその生徒の育成に励むのではないかと考えられる。

今後の課題

今回小学校と中学校を合わせて分析したが、その 2 つは学校の構造や規則など根本的な点が異なる。そのため、より多くの学級を対象とし、学年ごとの特徴や集団構造をより細かく見ていく必要がある。

また、教師のリーダーシップ P 行動の内容が、本来ならば、注意や助言の P 行動と、児童生徒の自主性を促す P 行動の 2 つに分けられる。さらに詳しく分析するためには、P 行動を注意・助言の P 行動と自主性の P 行動とに分ける必要がある。

児童生徒リーダーのリーダーシップ行動について、やんちゃ側面を加えて分析した。その他にも、リーダーシップ PM 理論以外で説明される側面があると考えられる。更に、リーダーシップ尺度については、小学校と中学校で異なる場面が想定される。新たな側面の追究と、対象を絞ったリーダーシップ尺度の作成を進める必要がある。

引用文献

Cillessen, A. H. N., Schwartz, D., & Mayeux, L. (2011). Popularity in the peer system. New York : Guilford.

石田靖彦・小島文 (2009). 中学生における仲間集団の特徴と仲間集団との関わりとの関連——仲間集団の形成・所属動機という観点から—— 愛知教育大学研究報告, 58, 107-113.

小林さえ子 (1960). 課題条件が集団成層化におよぼす効果について 教育社会心理学研究, 1, 46-55.

三隅二不二・吉崎静夫・篠原しのぶ (1977). 教師のリーダーシップ行動測定尺度の作成とその妥当性の研究 教育心理学研究, 25, 157-166.

堺賢治 (2000). 子どもの遊び集団とリーダーシップに関する研究 愛媛大学教育学部紀要, 46 (2), 127-134.

佐藤静一・篠原弘章 (1976). 学級担任教師の PM 式指導類型が学級意識及び学級雰囲気におよぼす効果——数量化理論第 II 類による検討 教育心理学研究, 24(4), 235-246.

弓削洋子 (2012). 教師の 2 つの指導性機能の統合化の検討——機能に対応する指導行動に着目して—— 心理学研究, 60 (2), 186-198.

吉崎静夫 (1978). 教師のリーダーシップと学級の集団勢力構造に関する研究 心理学研究, 49(1), 22-29.